

スイッチ

ルータ RVS4000-JP とスイッチ SG300-10P-JP との接続設定例

(テキスト版)

ONU に接続したルータ RVS4000-JP とマネージドスイッチ SG300-10P-JP との接続設定例(動作確認済み)

1. 設定前の準備

マネージドスイッチの電源がオフの状態、ルータの LAN コネクタとマネージドスイッチの LAN コネクタを LAN ケーブル(カテゴリ5以上)で接続します。

マネージドスイッチの LAN コネクタと設定する PC の LAN コネクタを LAN ケーブルで接続します。

設定する PC(本例では Windows7)に、あらかじめ FindIT をインストールしておきます。

マネージドスイッチの電源をオンにします。

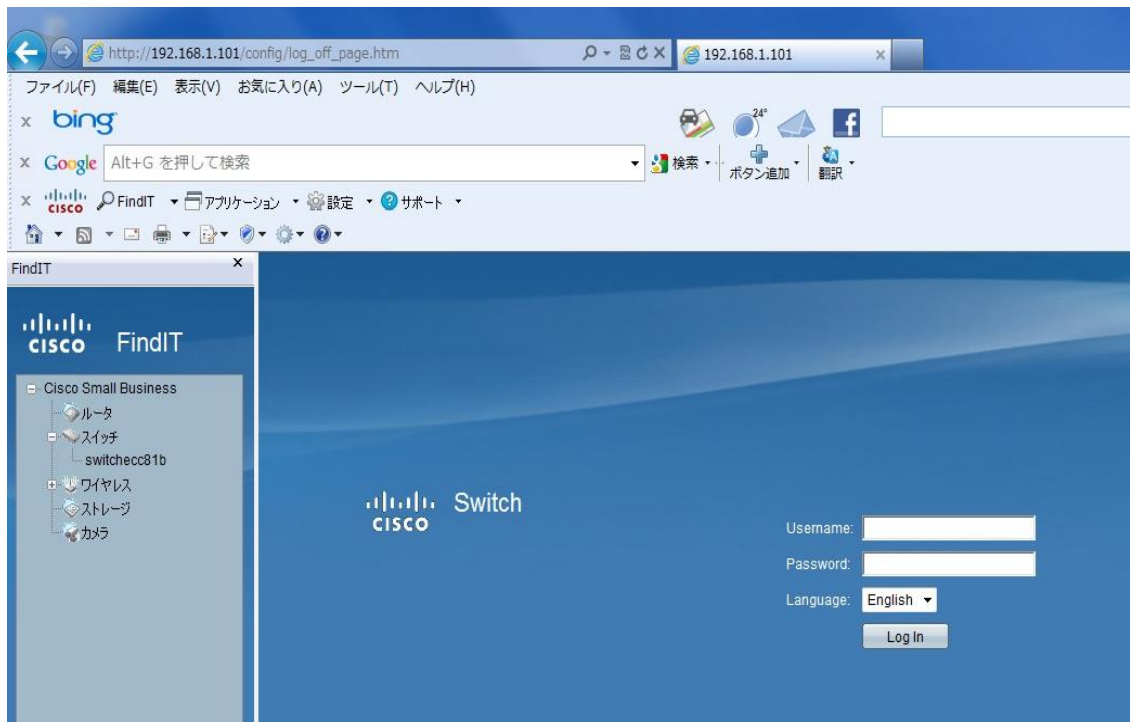
2. 設定画面の表示

PCにてインターネットエクスプローラを開き、FindIT のスイッチに表示されている装置(ホスト名:デフォルト名)を選択します。



FindIT が有効なインターネットエクスプローラ画面

上記の画面において、FindIT 内のスイッチ下のホスト名を選択します。選択することにより、以下の画面が表示されます。



ログイン画面(初期表示時は英語)

3. ログイン

上記の画面において、ユーザ名とパスワードを入力(はじめてログインするときはユーザ名、パスワードとも cisco)します。

続いて、Language のプルダウンで日本語を選択後、ログインを選択します。ログイン選択後、以下の画面が表示されます。

The image shows a login interface for a Cisco switch. On the left, there is the Cisco logo and the text "スイッチ" (Switch) and "CISCO". On the right, there are three input fields: "ユーザ名:" (Username) with the value "cisco", "パスワード:" (Password) with five dots, and "言語:" (Language) with a dropdown menu showing "日本語" (Japanese). Below these fields is a "ログイン" (Login) button.

ログイン画面(日本語モード切替時)

4. スイッチの処理待ち

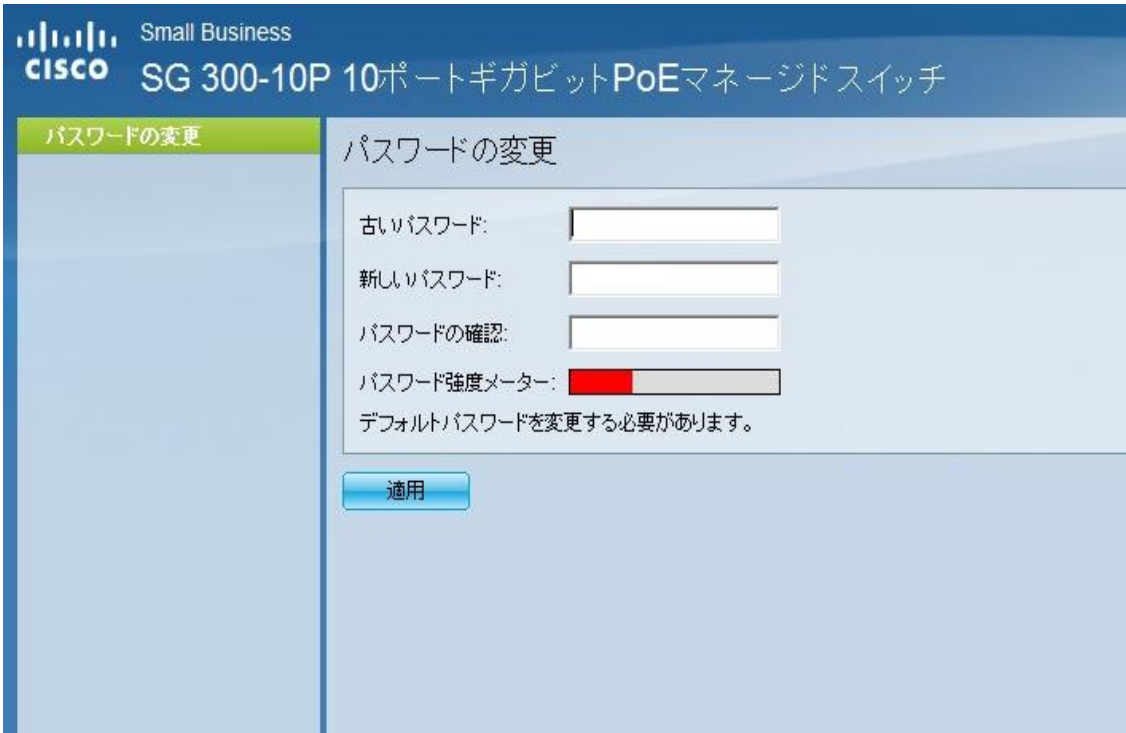
上記の画面でログインすることにより、以下に示すログイン処理中(データ処理中)の画面が表示されますので、完了を待ちます。



スイッチがデータ処理中に表示される画面
(100%処理完了で次に操作する画面に移ります。)

5. パスワードの変更

はじめてスイッチにログインしたときには、必ずパスワードの変更が求められ
まで、以下の画面でパスワードの変更を行います。



The screenshot shows the Cisco Small Business management interface for an SG 300-10P switch. The page title is "Small Business SG 300-10P 10ポートギガビットPoEマネージドスイッチ". The main heading is "パスワードの変更" (Change Password). The form contains the following fields and elements:

- 古いパスワード: (Old Password) text input field
- 新しいパスワード: (New Password) text input field
- パスワードの確認: (Confirm Password) text input field
- パスワード強度メーター: (Password Strength Meter) progress bar showing a red segment, indicating low strength.
- デフォルトパスワードを変更する必要があります。 (You must change the default password.)
- 適用 (Apply) button

パスワード変更画面

上記の画面において、新しいパスワードを生成します。パスワードが複雑な
ほど、パスワード強度メーターのグラフは右側に表示が伸びます。



入力後、適応を選択すると、再びデータ処理中画面が表示され、パスワードの変更が完了すると以下の画面が表示されます。



スイッチ設定(はじめに)画面

6. デバイス IP アドレスの変更

はじめにという画面において、初期セットアップのデバイス IP アドレスの変更を選択します。選択すると以下の画面が表示されます。

The screenshot shows the configuration page for the IPv4 interface on a Cisco SG 300-10P switch. The page is titled "IPv4 インターフェイス" (IPv4 Interface). The left sidebar contains a navigation menu with "はじめに" (Getting Started) selected. The main content area shows the following settings:

- 管理VLAN: 1
- IPアドレスタイプ: ダイナミック (Dynamic), スタティック (Static)
- * IPアドレス: 192.168.1.101
- * マスク: ネットワークマスク 255.255.255.0, プレフィクス長 (範囲: 8~30)
- デフォルトゲートウェイ: ユーザ定義 192.168.1.1, なし
- 動作デフォルトゲートウェイ: 有効
- IPアドレスを今すぐ更新: 有効
- DHCP経路の自動コンフィギュレーション: 有効

At the bottom of the configuration area, there are two buttons: "適用" (Apply) and "キャンセル" (Cancel).

IPv4 インタフェース設定画面

上記の画面において、スイッチの IP アドレスをダイナミック(ルータからの DHCP 設定)か、スタティック(固定設定)かを選択し、スイッチの IP アドレスを決定します。

なお、ダイナミック、スタティックのどちらとも他の機器と IP アドレスの競合はしないように注意してください。

以下に、IP アドレスをスタティックとした場合の設定画面を示します。

The screenshot shows the configuration page for the IPv4 interface on a Cisco SG 300-10P switch. The interface is titled "IPv4 インターフェイス". The configuration includes:

- 管理VLAN: 1
- IPアドレスタイプ: スタティック
- IPアドレス: 192.168.1.101
- マスク: ネットワークマスク 255.255.255.0
- デフォルトゲートウェイ: ユーザ定義 192.168.1.1
- 動作デフォルトゲートウェイ: なし
- IPアドレスを今すぐ更新: 有効
- DHCP経由の自動コンフィギュレーション: 有効

Buttons for "適用" (Apply) and "キャンセル" (Cancel) are visible at the bottom.

上記の画面の例は、スイッチの IP アドレスはスタティック、デフォルトゲートウェイはルータを設定しています。設定を適応する場合は、IP アドレスを今すぐ更新の有効をチェックし、適応を選択します。

適応を選択すると、データ処理中の画面が表示され、適応完了後に元の画面に戻ります。

この状態でのスイッチは、ほぼスイッチング HUB と同等の状態です。必要に応じて、種々の設定を行ってください。